

1. 地場産業ブランド力強化事業

事業目的

地場産業は、郷土の歴史と伝統に培われ地域において重要な役割を果たしています。しかし、近年は多くの産地において生産額が減少しています。兵庫県政150周年を機に、新たな需要を目指し地場産品を使用したファッションショーを開催しました。

『ひょうごじばさんフェア』でのファッションショーを開催

実施報告

産地の挑戦や産地間連携の取組を推進するため、ファッション関連（ケミカルシューズ、播州織、皮革、鞆等）の地場産品が一堂に会する『ひょうごじばさんフェア』を開催し、新たな取り組みの一環として、神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科と連携を図り、ファッションショーを実施しました。

ファッションショーの衣装制作は、産地企業の協力を得て、ファッションデザイン学科の学生達が西脇市（播州織）、たつの市（皮革）の製造工場に訪問してテキスタイルや皮革が出来上がる生産工程を見学する課外授業を兼ね、衣装の素材選びを行いました。夏休みを挿む短い期間ではありましたが、先生方の指導の下、学生の初々しく斬新な発想と産地の技術を活かした衣装が完成しました。

ファッションショーでは、兵庫県内の地場産品（素材/播州織、ひょうご天然皮革）を使い、学生の斬新な発想でデザインされた地場産品とのコラボレート衣装作品を制作し、魅力的な衣装に県内の地場産品、神戸真珠（アクセサリ）を身につけ、豊岡かぼんを提げ、神戸シューズ（ケミカルシューズ）を履き、ランウェイに登場し来場者にアピールをしました。30分間のファッションショーは華やかなうちに終えました。

この取り組みは産産間が連携した事業活動となり、当初のテーマ「地場産業の挑戦」未来を担う若手と学生による新たな取り組みにつながり、今後、継続することで学生が地場産品の魅力を見つけ興味を持つきっかけとなり、次のステップとして産地企業と大学間で新たなインターンシップ制度が生まれることを期待します。

【開催概要】

実施日：H30年9月6日（木） 15:00～15:45
 開催場所：国際フロンティア産業メッセ2018 開催会場2号館ロビー 奥・特設会場
 来場者：約250人（推定）
 参加者：神戸芸術工科大学 ファッションデザイン学科学生45名

①神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科学生の産地訪問風景

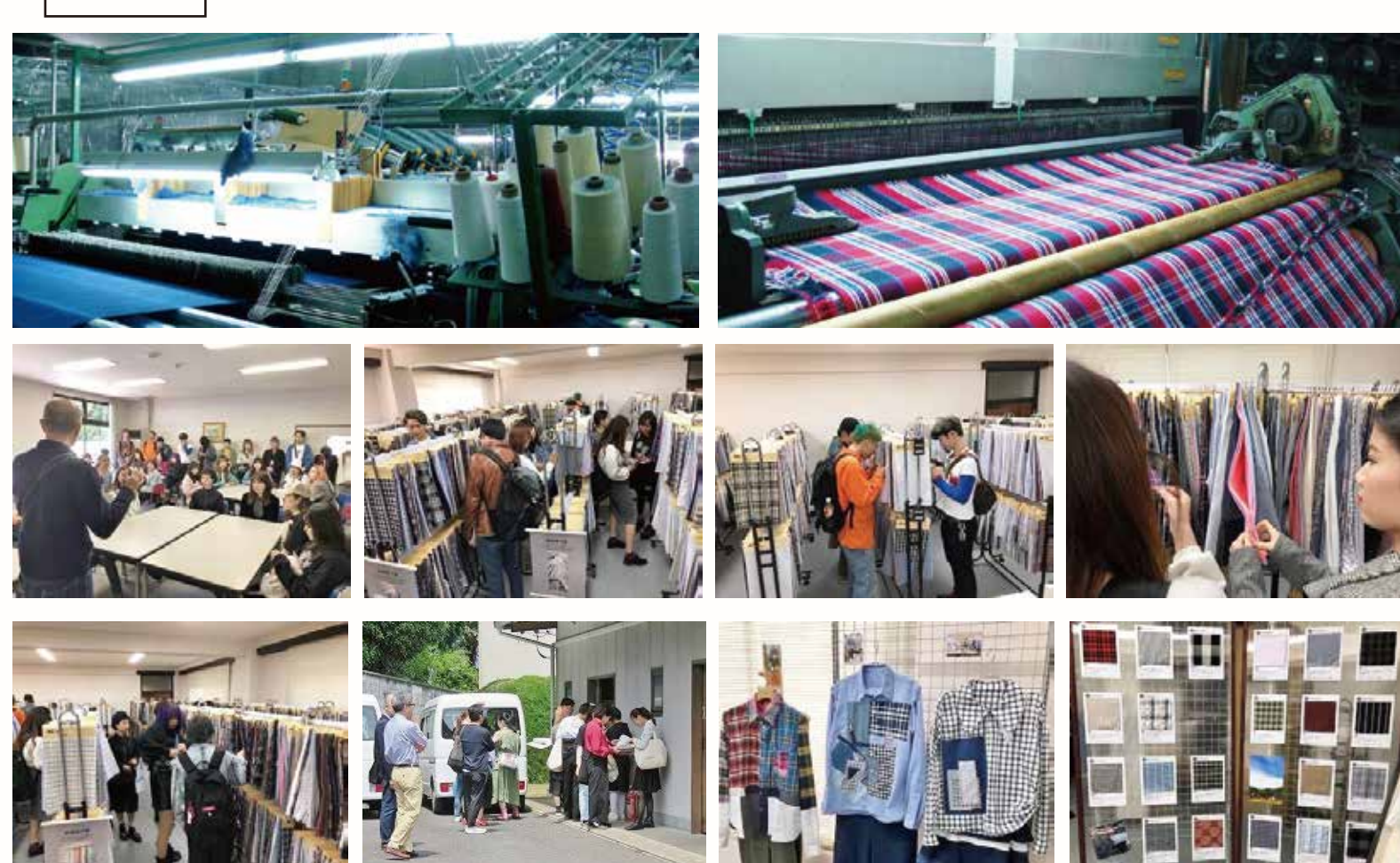
西脇市（播州織）のコワーキングスペース「コンセント」に訪問。コンセントは、デザイン用パソコン、各種マシン、撮影機材などの設備が整備されており、産地のデザイナー、デザイナー研修生、学生等が自由に播州織の製品の開発や試作を行うワークスペースとして提供されています。



②播州織の織物工場2社に訪問

A社はファッションからリビングまで暮らしを彩る織物を多彩に提供し、短繊維から長繊維までそれぞれの部署の特色発揮し、豊富な企画力と創造力を提案しています。B社はジャガード織を中心に製造。立体感にあふれた「図柄」で魅せる織地が特徴。全織機にジャカード機を搭載し、サンプルから量産、小ロットにも対応しています。

A社



B社



③たつの市（タンナー）皮革工業所C社に訪問

C社は、バッグ用の革が7割。ファッションの流行を見つもの、時代に合わせたカジュアルな革を造る。衣料革を中心に生産し、現在もナチュラルな風合いの革から型押し加工をした革まで、さまざまなタイプの革をつくっている。技術力を磨き、革をつくる工程に全身全霊を傾け品質の向上を目指しています。



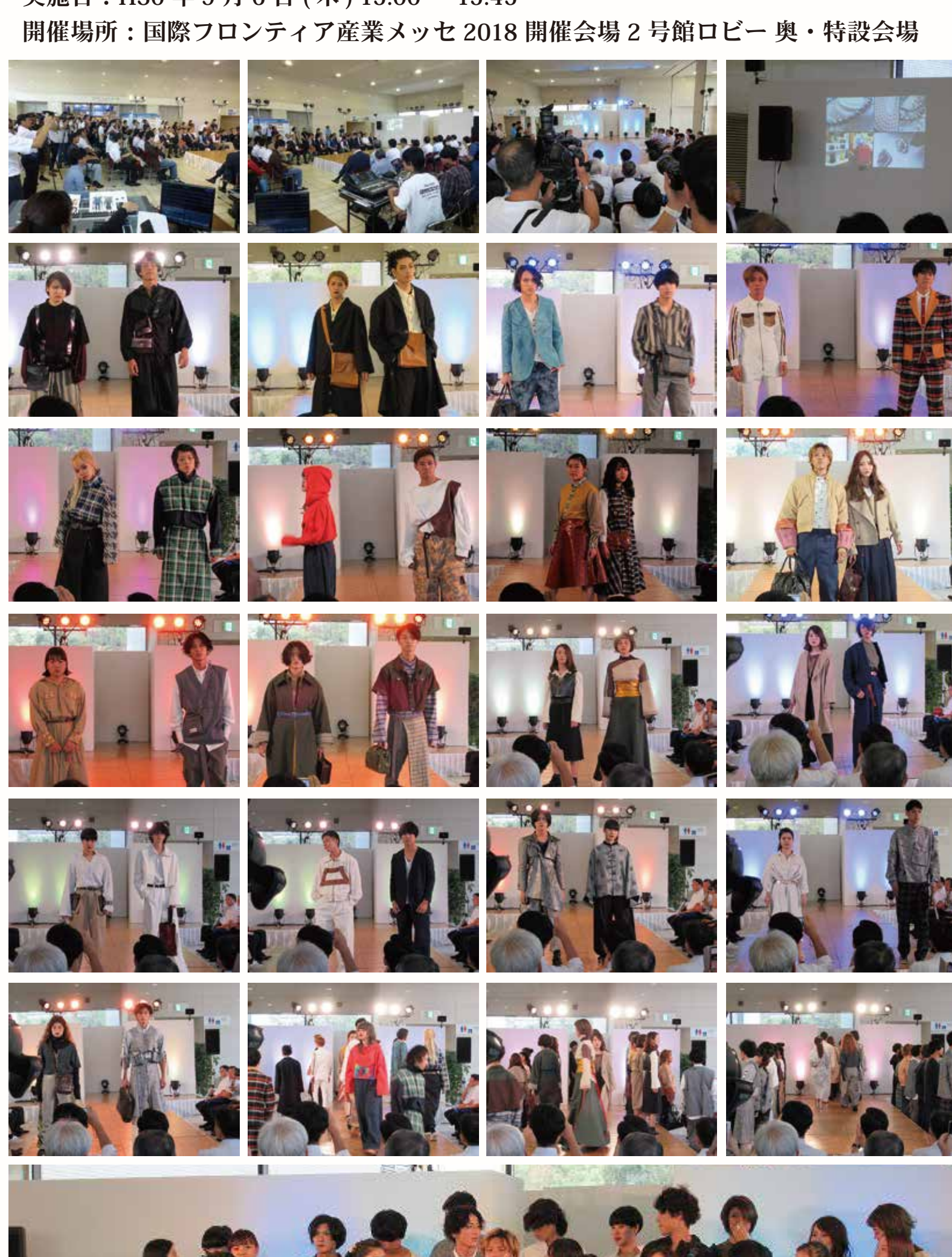
④ファッションショーの衣装に合わせシューズ選び神戸市「シューズプラザにて」



⑤『ひょうごじばさんフェア』での神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科学生によるファッションショーを開催

地場産業は、郷土の歴史と伝統に培われ地域において重要な役割を果たしています。しかし、近年は多くの産地において生産額が減少している。兵庫県政150周年を機に、新たな需要を目指し地場産品を使用したファッションショーを開催しました。

実施日：H30年9月6日（木）15:00～15:45
 開催場所：国際フロンティア産業メッセ2018 開催会場2号館ロビー 奥・特設会場



＜お問い合わせ先＞

（公財）神戸ファッション協会
 Kobe Fashion Association (K.F.O.)

（担当：酒井 滋）

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-1 神戸商工会議所会館 6階
 TEL. 078-303-3133 FAX. 078-303-3122
 URL. <http://www.kfo.or.jp/>

お問い合わせ